

教育課程又は教員組織に係る重要な変更に対する評価結果への付記事項

【神戸学院大学大学院実務法学研究科実務法学専攻】

年 度	法科大学院年次 報告書の提出	付 記 事 項	備 考								
平成 22 年度	○	特になし。									
平成 23 年度	○	<p>平成 23 年度入学者より、修了要件単位数が次のとおり変更となった。</p> <table border="1" data-bbox="707 624 1789 1142"> <thead> <tr> <th data-bbox="707 624 1249 655">変 更 前</th> <th data-bbox="1249 624 1789 655">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="707 655 1249 919"> 法律基本科目 ・ 公法系科目 10 単位 ・ 民事系科目 20 単位 ・ 刑事系科目 10 単位 法律実務基礎科目 10 単位 基礎法学・隣接科目 4 単位 展開・先端科目 20 単位 </td> <td data-bbox="1249 655 1789 919"> 法律基本科目 ・ 公法系科目 10 単位 ・ 民事系科目 24 単位 ・ 刑事系科目 10 単位 法律実務基礎科目 10 単位 基礎法学・隣接科目 4 単位 展開・先端科目 20 単位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="707 919 1249 1070"> ※ 上記のほか、法律基本科目の総合科目から 22 単位履修しなければならない。 </td> <td data-bbox="1249 919 1789 1070"> ※ 上記のほか、法律基本科目の総合科目から 22 単位履修しなければならない。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="707 1070 1249 1142"> <hr/> 合計 96 単位 </td> <td data-bbox="1249 1070 1789 1142"> <hr/> 合計 100 単位 </td> </tr> </tbody> </table> <p>1 年次における履修科目として登録することのできる単位数の上限を、36 単位を超えて 40 単位とした。</p>	変 更 前	変 更 後	法律基本科目 ・ 公法系科目 10 単位 ・ 民事系科目 20 単位 ・ 刑事系科目 10 単位 法律実務基礎科目 10 単位 基礎法学・隣接科目 4 単位 展開・先端科目 20 単位	法律基本科目 ・ 公法系科目 10 単位 ・ 民事系科目 24 単位 ・ 刑事系科目 10 単位 法律実務基礎科目 10 単位 基礎法学・隣接科目 4 単位 展開・先端科目 20 単位	※ 上記のほか、法律基本科目の総合科目から 22 単位履修しなければならない。	※ 上記のほか、法律基本科目の総合科目から 22 単位履修しなければならない。	<hr/> 合計 96 単位	<hr/> 合計 100 単位	<p>下線部が変更となった箇所</p> <p>法律基本科目の必修総単位数のうち 62 単位を超える部分は中教審報告*に基づく措置。</p> <p>36 単位を超える部分は中教審報告*に基づく措置。</p>
変 更 前	変 更 後										
法律基本科目 ・ 公法系科目 10 単位 ・ 民事系科目 20 単位 ・ 刑事系科目 10 単位 法律実務基礎科目 10 単位 基礎法学・隣接科目 4 単位 展開・先端科目 20 単位	法律基本科目 ・ 公法系科目 10 単位 ・ 民事系科目 24 単位 ・ 刑事系科目 10 単位 法律実務基礎科目 10 単位 基礎法学・隣接科目 4 単位 展開・先端科目 20 単位										
※ 上記のほか、法律基本科目の総合科目から 22 単位履修しなければならない。	※ 上記のほか、法律基本科目の総合科目から 22 単位履修しなければならない。										
<hr/> 合計 96 単位	<hr/> 合計 100 単位										

* 平成 21 年 4 月 17 日中央教育審議会大学分科会法科大学院特別委員会「法科大学院教育の質の向上のための改善方策について（報告）」